TES会中部支部　第122回クレーム事例勉強会

検討年月日	2017/6/16	Aグループ	
品名（品番）（写真）	白色のリヨセル混綿パンツ		
	組成 綿　55% 指定外繊維（リヨセル）42% ポリウレタン　3%	絵表示記号	101　201　301　401　501　601 102　202　302　402　502　602 103　303　403　603 104　304　604 105　中性 106 107
申し出クレーム内容	ドライクリーニング後、お客様より黄ばんでいるとクレーム メーカー確認内容：2015春物、詳細記録なし　樹脂加工品？の問いには回答なし		
クリーニング処理法	水洗い　漂白作業すみ		
グループ検討内容	観察事項：①黄変している部分にムラがある ②ベルトループ、ポケット内、生地の裏は白いままである ③表面に何か加工がしてある　→　こするとボロボロと取れる（白くなる） ④縫付ラベルに「徐々にヴィンテージ感が現れてくる」旨の表記有り ↓ 結論：洗濯時に酸化等の要因によりプリント加工が黄変した		
検査機関検討内容	①どの段階で発生したのかが不明 ②変色が生じているのは表側のみで全体的に発生。裏側には発生していない ③赤みがかった黄変 ④表側のみ発生していることから、光の影響ではないかと推察される ⑤「加工剤や漂白剤が光により変色」したものではないかと思われる		